

平成 29 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	1	基本目標名	にぎわい、活力あるまち						
施策 No.	9	施策名	観光の振興						
主管課名	商工観光課								
関係課名	企画政策課、農林水産課、生涯学習・スポーツ課、埋没林博物館、水族博物館								
施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かした観光振興により、多くの人が訪れ、にぎわっています。 ・広域的な観光連携が進み、外国からの観光客も増加しています。 ・観光客の増加により地元消費が生まれ、地域全体が活性化しています。 ・おもてなしの心で観光客を受け入れる体制が整っています。 								
施策の成果向上に向けての 住民と行政との 役割分担や地域等への期待 など	市民 ・ 事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者に対し、おもてなしの心をもって接します。 ・観光行事に積極的に参加し、にぎわいのあるまちにします。 ・市民自ら地域の魅力を再発見し継承します。 ・市民自ら地域の魅力を全国に発信します。 							
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興条例及び観光振興計画を策定し、地域の活性化と広域的な観光を推進します。 ・関係機関との連携を図り、地域の情報の発信等に勤めます。 ・地域の観光資源開発を各種団体と共に進めます。 							
	その他 (地域)								
施策を実行する うえで基本となる 事業	基本事業①	観光資源のブランド力向上と整備							
	基本事業②	情報の活用と受け入れ体制の整備							
	基本事業③	広域観光ネットワークの振興							
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	12 (12)	12 (12)	14 (14)	14 (14)	14 (14)	18 (18)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	5 (5)	4 (4)	6 (6)	5 (5)	5 (5)	8 (8)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	5 (5)	7 (7)	7 (7)	8 (8)	8 (8)	9 (9)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)		千円	39,006	51,288	142,335	70,270	57,471	152,021
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	17,502	7,931	98,254	12,231	12,160	83,660
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	14,941	39,546	40,263	54,158	40,348	56,420
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	6,563	3,811	3,818	3,881	4,963	11,941
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	30	29	37	34	29	41	
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	7,420	7,460	11,420	11,180	9,900	15,900	
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)		千円	32,641	31,287	50,042	46,744	40,699	64,029	
F. トータルコスト (B+E)		千円	71,647	82,575	192,378	117,014	98,170	216,050	
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の		円	880	1,165	3,268	1,628	1,346	3,590
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)								
	同 上		円	737	710	1,149	1,083	953	1,512
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)								
	同 上		円	1,617	1,875	4,417	2,712	2,299	5,103
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)									
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	4,399	4,194	4,382	4,181	4,111	4,027
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	44,315	44,036	43,555	43,152	42,706	42,340

基本事業概要シート①

施策 No.	9	施策名	観光の振興
基本事業名	①観光資源のブランド力向上と整備		
基本事業の目的(意図)	市内の観光資源の連携活用で、ブランド力の向上を図り、観光客が再び訪れたいような魅力ある魚津をつくり上げるための支援や整備を行います。		
平成29年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【観光イベント支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津市への誘客を図るため、じゃんとこい魚津まつや漁火まつり、富山湾岸サイクリング等の各種イベント開催への助成を行いました。 <p>【食泊連携事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食をテーマにした各種イベント開催への助成を行い、県内外からの誘客を図りました。観光交流都市である長野県飯山市より観光客を誘客するため、宿泊・飲食クーポン事業を実施しました。 <p>【ふるさと祭り東京2018たてもん派遣事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと祭り東京2018へ「たてもん」の出演の補助を行いました。ふるさと祭り東京2018でのたてもん出演や県内ユネスコ登録3団体連携PRを実施したほか、富山県ブースでの観光PRやバイ飯販売を行いました。 <p>【産業観光推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「魚津産業観光研究会」を立ち上げ、本市の特色を活かした新たな産業観光について関係機関と連携しながら調査・研究を進めました。 <p>【埋没林博物館交流拠点整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋没林博物館に魚津特産のフルーツを活用したスイーツを提供するカフェ、蜃気楼の見えるデッキテラスや木育キッズスペース等を整備しました。また、蜃気楼ライブ映像配信システムを整備し、80型ライブモニターをカフェ内に設置しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
観光客入込数	千人	1,464	1,561	1,539	1,870 1,557	1,890 1,525	1,910	1,930	1,950
宿泊者数	千人	223	312	286	298 308	316 289	334	352	370

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成29年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	○ 定住・交流促進事業	1,427,000	840,552	586,448	B	企画政策課
2	一般会計	○ ふるさと納税推進事業	1,933,000	1,247,432	685,568	B	企画政策課
3	一般会計	○ 地域資源を生かしたまちづくり事業(富大、能開大)	1,064,000	864,000	200,000	B	企画政策課
4	一般	○ 観光イベント支援事業	8,490,000	8,402,680	87,320	B	商工観光課
5	一般会計	○ 魚津セットメニュー推進事業	1,157,000	229,280	927,720	B	商工観光課
6	一般会計	ふるさと祭り東京2018たてもん派遣事業	4,000,000	4,000,000	0	-	商工観光課
7	予算なし	産業観光推進事業	0	0	0	-	商工観光課
8	一般会計	○ 埋没林博物館交流拠点整備事業	69,289,000	68,075,574	1,213,426	A	埋没林博物館
9	一般	○ 食泊連携事業(施策9②再掲)	(6,100,000)	(4,088,190)	(2,011,810)	B	商工観光課
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			87,360,000	83,659,518	3,700,482		

基本事業概要シート②

施策 No.	9	施策名	観光の振興
基本事業名	②情報の活用と受け入れ体制の整備		
基本事業の目的(意図)	観光客への情報提供や首都圏を中心としたPR活動や、ホームページや観光ガイドなどの情報インフラの充実と、外国人対応などの総合案内機能を強化します。		
平成29年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【シティプロモーション事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさと応援キャンペーンとして、PR用ポスターと魚津の情報を掲載したリーフレットを作成し、県外の魚津ゆかりの方々や企業へ配布しました。 SNSを活用したフォトコンテストを開催し、応募のあった759作品を特設ホームページに掲載して魚津の魅力を発信しました。 <p>【受入体制整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光協会の支援を行うとともに、連携した観光宣伝活動や情報発信を行いました。 市内観光案内看板の外国語表記等の整備を行うとともに、着地型観光パンフレット(新)を作成しました。 「北陸新幹線開業 観光・ビジネス客 宣伝・受入支援事業補助金」により、市内団体等が行うPR等を支援しました。 <p>【台湾インバウンド等推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 台湾国際旅行博や観光旅行商談会に出席するとともに、飯山市等と連携した現地台湾メディアを招へい事業を行いました。 台湾人職員を雇用し、翻訳、通訳業務を担っていただき、SNS等による情報発信を行いました。 水族館及び埋没林博物館にスマートフォンを活用したQRコード多言語翻訳案内を整備しました。 <p>【観光・物産宣伝事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 首都圏、関西方面、井原市、飯山市、高山市等において、観光宣伝活動を行いました。 <p>【食泊連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食をテーマにした各種イベント開催への助成を行い、県内外からの誘客を図りました。観光交流都市である長野県飯山市より観光客を誘客するため、宿泊・飲食クーポン事業を実施しました。 <p>【広域観光連携事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いしかわ観光圏(事務局:黒部市商工観光課)、新川地域観光開発協議会(事務局:魚津市商工観光課)の両協議会に参加し、首都圏、関西等において、観光宣伝活動を行いました。 とやま観光推進機構と連携し、観光資源磨き上げを行いました。 県と映画「羊の木」のPRキャンペーンを行いました。 <p>【コンベンション開催支援事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 首都圏・関西方面からの大学生の合宿誘致やコンベンション開催の際の宿泊誘致に努めるとともに、コンベンション活動宿泊客の助成を行いました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
観光ボランティア人数	人	18	27	31	38 32	41 39	44	47	50
魚津市観光協会HPアクセス件数	件	319,302	185,141	221,111	206,400 212,315	212,800 210,286	219,200	225,600	232,000

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成29年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	○ シティプロモーション事業	3,627,000	3,247,591	379,409	B	企画政策課
2	一般	○ 受入体制整備事業	25,405,000	20,691,865	4,713,135	A	商工観光課
3	一般	○ 観光・物産宣伝事業	9,588,000	9,088,730	499,270	A	商工観光課
4	一般	○ 食泊連携事業	6,100,000	4,088,190	2,011,810	B	商工観光課
5	一般会計	○ 在来線を活用した魚津への誘客支援事業	1,590,000	172,427	1,417,573	B	商工観光課
6	一般会計	○ 台湾インバウンド等推進事業	17,260,000	12,391,688	4,868,312	B	商工観光課
7	水族館事業特別会計	水族博物館観客誘致事業	3,280,000	3,252,013	27,987	-	水族博物館
8	水族館事業特別会計	水族博物館広告宣伝事務	1,779,926	1,745,579	34,347	-	水族博物館
9	一般会計	埋没林博物館観客誘致事業	1,781,880	1,742,092	39,788	-	埋没林博物館
10	一般	○ 広域観光連携事業(施策9③再掲)	(11,954,000)	(11,940,680)	(13,320)	A	商工観光課
11	一般	○ コンベンション開催事業(施策10②再掲)	(4,250,000)	(3,944,000)	(306,000)	A	商工観光課
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
合計			70,411,806	56,420,175	13,991,631		

基本事業概要シート③

施策 No.	9	施策名	観光の振興
基本事業名	③広域観光ネットワークの振興		
基本事業の目的(意図)	広域観光圏での連携を強化し、魅力ある周遊ルートやモデルプランをつくり、滞在型観光を促進します。 また、外国語パンフレットや案内標識などを整備し、国際化に対応したまちづくりで来訪者数の増加を図ります。		
平成29年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【広域観光連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にいかわ観光圏(事務局:黒部市商工観光課)、新川地域観光開発協議会(事務局:魚津市商工観光課)の両協議会に参加し、首都圏、関西等において、観光宣伝活動を行いました。 ・とやま観光推進機構と連携し、観光資源磨き上げを行いました。 ・県と映画「羊の木」のPRキャンペーンを行いました。 <p>【受入体制整備事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会の支援を行うとともに、連携した観光宣伝活動や情報発信を行いました。 ・市内観光案内看板の外国語表記等の整備を行うとともに、着地型観光パンフレット(新)を作成しました。 ・「北陸新幹線開業 観光・ビジネス客 宣伝・受入支援事業補助金」により、市内団体等が行うPR等を支援しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
新川地域観光客入込数	千人	5,149	4,853	5,344	6,215 5,432	6,406 5,328	6,597	6,788	6,979
新川地域内平均宿泊日数【H26年度で県調査終了】	日	1.5	1.11	—	1.87 —	1.92 —	1.97	2.02	2.07

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成29年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般	○ 広域観光連携事業	11,954,000	11,940,680	13,320	A	商工観光課
2	一般	○ 受入体制整備事業(施策9②再掲)	(25,405,000)	(20,691,865)	(4,713,135)	A	商工観光課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			11,954,000	11,940,680	13,320		

施策 No.	9	施策名	観光の振興
<p>1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)</p>			
<p>【①観光資源のブランド力向上と整備】 ◆観光客の入込数は1,525千人(昨年比32千人減)、宿泊者数は289千人(昨年比19千人減)となりました。一方、インバウンド宿泊者数は7,308人(昨年比1,658人増)となり毎年増加が続いています。 ◆とやま観光推進機構や法政大学と連携し、本市の観光資源(「食」)の磨き上げを行い、PRに努めています。</p> <p>【②情報の活用と受け入れ体制の整備】 ◆観光ボランティア数は順調に伸びています。今後も地道に増やしていくことが重要であり、広報等を通じ、人員の増に努めています。 ◆観光協会のホームページアクセス数はホームページの更新により増加傾向にあるものの、今年度は若干減少しています。 ◆平成27年3月の北陸新幹線開業以来、魚津駅前観光案内所の利用者は、平成29年度は11,778人(H28年度:12,298人)で減少傾向にあります。一方、台湾をはじめとする外国人宿泊者数は増加しており、外国語パンフレットの作成など受入体制の整備に努めています。</p> <p>【③広域観光ネットワークの振興】 ◆近隣市町・観光協会等で構成する「いかわ観光圏」や「新川地域観光開発協議会」による首都圏等での出向宣伝活動を始めた、広域的な観光の推進に取り組んでいます。</p>			
<p>2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (平成29年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)</p>			
<p>【①観光資源のブランド力向上と整備】 ＜観光イベント支援事業＞ ◆じゃんとこい魚津まつりや漁火まつり等に補助を行うことにより、イベント内容の充実化等が図られました。</p> <p>【②情報の活用と受け入れ体制の整備】 ＜食泊連携事業＞ ◆バル街、グルメフェスタ等、食泊連携事業を展開し、多くの方々に参加していただき、交流人口の拡大が図られました。 ＜台湾インバウンド等推進事業＞ ◆台湾現地で開催された国際旅行博や旅行会社に対する商談会へ参加するとともに、飯山市等と連携し、台湾人メディア招へい事業を実施しました。 ◆魚津まつりや市内体験プラン等を取材、PRしていただき、多くの現地台湾人に魚津を知っていただきました。 ◆台湾人職員による翻訳や通訳、そしてホームページやSNSの活用により情報発信を行いました。 ＜受入体制整備事業＞ ◆平成28年度に策定した第2次魚津市観光振興計画のもと、計画的な観光の推進や各種団体等の連携強化、受入体制の整備に努めてきました。 ◆観光協会の補助を一括補助金としたことなどにより、円滑な運営と体制の強化が図られました。 ◆「北陸新幹線開業 観光・ビジネス誘客 宣伝・受入支援事業補助金」を活用し、多くのPR活動が実施されました。</p> <p>【③広域観光ネットワークの振興】 ＜広域観光連携事業＞ ◆いかわ観光圏事業、新川地域観光開発協議会等による近隣他市町との観光連携により、広域的なPR活動を実施しました。着地型、発地型の観光PRなどそれぞれの持つ役割を明確にし、効果的な活動に努めました。 ◆県と連携し、映画「羊の木」のロケ地マップの作成やロケ地ツアーを実施することで、全国にPRすることができました。 ◆とやま観光推進機構と連携し、観光資源磨き上げ事業を実施し、「食の街」としてPRしました。</p>			
<p>3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)</p>			
<p>【①観光資源のブランド力向上と整備】 ◆観光イベントは、事業の態様や実施体制を検証するなど、より効果的に事業が行えるよう努めます。 ◆地域資源の磨き上げによるブランドの質の向上と人材を活かした観光の推進、並びに、情報の収集及び発信が観光の推進における重要な課題であり、第2次観光振興計画に基づき、各種事業を展開していきます。 ◆魚津埋没林博物館は、埋没林、蟹気楼という重要な観光資源をもつ拠点施設です。カフェや蟹気楼ライブカメラ、木育キッズルーム等の整備により、魅力を向上させ、隣接する「海の駅蟹気楼」と連携を図りながら、にぎわいの創出に貢献するよう努めます。</p> <p>【②情報の活用と受け入れ体制の整備】 ◆観光協会の果たす役割が大きくなってきている中、自立に向けた人的・財政的強化が必要です。また、駅前観光案内所の強化・持続的な運営も大きな課題です。このような状況の中、観光振興条例・計画に基づき、行政と各種団体及び観光関連事業者・市民が果たす役割を着実に推進していきます。 ◆魚津の大きな魅力である食にこだわった食泊連携事業を実施し、さらなる展開・関係団体との連携を図ります。 ◆台湾インバウンド推進事業は、魚津市単独でのPRでは効果が薄いと考えられることから、県内自治体や周辺の著名観光地とも連携した事業を実施します。また、台湾以外でのPRの検討を図ります。 ◆板橋区中板橋商店街に開所した「うおづや」は、魚津産の食材を活用した料理の提供やパンフ等を設置している“魚津のアンテナショップ”的役割を担っています。今後、市としても支援を進め、連携した取組を実施していきます。また、板橋区との連携を図り、魚津の認知度が上がるように努めます。</p> <p>【③広域観光ネットワークの振興】 ◆新川地域観光開発協議会、及びいかわ観光圏の役割を明確にし、効果的な連携体制のもと、観光振興につなげていきます。さらには2つの協議会の在り方についても、関係自治体と協議を進めます。 ◆インバウンド対策にも広域的に取り組んでいく必要があり、滞在型、周遊型観光メニュー開発、充実を図ります。 ◆県やとやま観光推進機構と連携したPR活動や資源の磨き上げに取り組めます。</p>			

平成29年度の
評価結果(基本
事業の成果を
考慮し記載)

<p>部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域資源のブランド力を向上させるため、そのブラッシュアップを図ると共に、関係団体との連携体制を整え、一体となって取り組むこと。 ◆従来からのHP等の発信のみならず、様々なSNS媒体を活用し、幅広く情報発信に努めること。特に観光協会と連携し、効果的、魅力的な情報発信を実施すること。 ◆市民一人ひとりが、観光客に対し、おもてなしの心で接することが出来るよう、駅前観光案内所を中心に活動を広げるよう取り組むこと。 ◆新川地域観光開発協議会、にいかわ観光圏の2つの協議会の在り方を整理すると共に、圏域の枠にとらわれることなく、事業連携等の推進による、より広範囲な広域連携の構築に努めること。
---	--

<p>施策の方針 (今後の事務の取組みの参考)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域資源のブランド力の向上を図るため、関係団体と連携してブラッシュアップに取り組みます。 ◆観光協会、駅前観光案内所等との連携体制の強化を図り、効果的・魅力的な情報発信を実施します。 ◆食泊連携事業や観光ルートの拡充等による滞在型観光の推進、広域連携による観光の振興、インバウンド等関連事業を進め、交流人口のさらなる増加を図ります。
---------------------------------	---